

〔農場紹介〕

「ブタ」と「ヒト」のチームワークが生み出した上質の生産技術

北海道虻田郡豊浦町・(有)フロイデ農場



はじめに

2012年11月6日、(有)フロイデ農場代表取締役勝木伸（かつきのぼる）氏は、日本SPF豚協会主催のSPFセミナーの席上、2012年総合生産成績最優秀農場表彰を受けた。

同農場は、平成16年に有限会社設立、17年母豚500頭規模で豚舎建設、初期種豚導入を開始、翌18年肉豚の出荷を開始した。以降、ホクレンSPFピラミッドの一員として、SPF養豚を展開してきた。所在地は、道南の内浦湾（噴火湾）に面した豚肉とイチゴとホタテの町「豊浦町」の山間部。



フロイデのヒト

農場経営の中核を担うのが、社長、場長そして管理担当課長。生産活動は、場長、二人の副場長（繁殖分娩総責任者と子豚肥育総責任者）、三名の責任者（分娩責任者、子豚責任者、肥育責任者）および一名の清掃・消毒担当者が担っている。



「フロイデ精神」が育んだ「フロイデ流」

豚舎に入ると感じるが、決して派手さは無いが、温もりを感じる飼養管理の様子が窺える。

また、職員自ら考えて実践することを促す農場風土。みんなで考え、みんなで提案する。みんなで決めたことは、とにかくやってみる。

さらに、「すべての職員がオールラウンド・プレイヤーになる」との目的を着実に実現しつつある。そのために、業務担当替えを適時行っている。これは、いずれの部門も出来る人間になることが、お互いに他の部門を知り、ブタ飼いとしての連携性を深めることになるという、社長の信念を実現するもの。

農場の生産技術検討会が毎月、全職員とホクレ



ン・全農の担当職員とで行われる。この場では、第三者の客観的な目線と観察、計数分析を参考にして、現行技術の検証と成績評価の意見交換を行っている。

なお、お昼は、「給食センター」から社長夫人らの手作りのお弁当が届く。これが、まさしく「同じ釜の飯を食う」仲間意識を醸成している。

ここで垣間見えるのは、ホクレン・SPFピラミッドの認定農場風土である。すなわち、ブタを飼う姿勢は自然体、「健康と衛生」とりわけ防疫の意識は格別が高い、そして、技術の確認と成績の検証は第三者（ホクレン、全農）を含めて定期的に行う、というのがいずれの農場でもやっている事である。

失敗を克服して実現した飼養管理

同じグループ内の先輩農場（社長の父親が経営

する(有)ゲズント農場)の支援を受けて実現した農場だが、特に立ち上げ当初の、様々な失敗の連続が後に大きな糧となった。

立ち上げ時の、ウィークリー管理のための母豚群ロットの平準化は容易ではなかった。

子豚舎、肥育舎をリキッド・フィーディングへ全面的に切り替えた折には、床面構造上、環境管理に手こずり、エサの成分決定と水分混合に苦勞した。

平成23年秋、大きな試練の時が訪れた。疾病の侵入—農場に排除対象疾病で



ある豚マイコプラズマ肺炎が侵入した。疾病侵入防止を最大の社是としていた農場内に衝撃と落胆が満ちた。即座に、生産技術支援チームと共に清浄化に取り組み、平成24年6月、復活認定を受けた。この間約8か月の迅速な復活。清浄化や認



定問題の解決だけでなく、農場職員がチームとして結束したことが最大の果実となった。

生産成績から見たフロイデの特徴

受賞対象期間の生産成績は、総合指数130.35、分娩回数2.45回、一腹当りの正常産子数11.52頭、一腹当りの年間離乳頭数26.03頭、出荷日令163日令、出荷体重113.55kg、一母豚当りの年間肉豚出荷頭数24.56頭、農場飼料要求率2.94。

すなわち、いずれの生産成績項目でも上位農場



群に入っているが、特に一母豚当りの年間離乳頭数が多く(26.03頭)、日増体重が高い(697g/日)のが特徴である。

同農場の思想は、「数字」が成績を上げるのではなく、現場が成績を上げた結果数字が上がる。さらに、数字の重みを知ること。そこには、日々の実践があってこそのこと。成績から、その結果が生まれた背景を読まなくては、意味が無いと考えている。

さらに、創造性に富んだ豚肉造りへ

立上げ時の課題を克服し、生産が軌道に乗り始めた頃には、ブタの健康を前提として、肉の旨味



をさらに高める独自の豚肉造りに着手した。

いろいろな試行錯誤の上、「プレミアム SPF 豚肉」、「とようら^{うま}旨み麦豚」などが次々に生み出された。とりわけ、「とようら旨み麦豚」は北海道産小麦を使って肉の脂肪含量を高めた自信作。今では、道央南のホクレン系列のスーパーで店頭に並んでいる。

おわりに

様々な失敗の克服、新たな生産技術の獲得そしてこだわりの豚肉造りへの挑戦と、フロイデ農場は更に動き続ける。北海道を代表する SPF 豚農場としての今後に、大いに期待したい。

(文責：ホクレン生産振興部・岩瀬俊雄)

